

第4回議会報告会 議事録

開催日時 令和元年11月15日（金） 午後7時00分～午後8時00分

場 所 文化ホールくるる 3階多目的ホール

主 催 蕨市議会

参加者数 32名

出席議員	武 下 涼	中野 たかゆき	今 井 陽 子
	古 川 歩	大 石 圭 子	本 田 てい子
	宮 下 奈 美	榎 本 和 孝	小 林 利 規
	保 谷 武	前 川 やすえ	鈴 木 智
	山 脇 紀 子	一 関 和 一	池 上 智 康
	三輪 かずよし	大 石 幸 一	

司 会 大 石 圭 子 広報広聴委員会委員長

議事概要

1. 開会挨拶 前 川 やすえ 議長

2. 進行説明 大 石 圭 子 広報広聴委員会委員長

3. 議会のしくみ等の説明 池 上 智 康 議会運営委員会委員長

4. 審議概要報告

(1) 一 関 和 一 総務常任委員会委員長

- ・平成 30 年度の決算状況について
- ・新庁舎・仮設庁舎整備について
- ・防災について

(2) 山 脇 紀 子 環境福祉経済常任委員会委員長

- ・保育行政について
- ・健康マイレージ事業について
- ・ごみ問題について

(3) 古 川 歩 教育まちづくり常任委員会委員長

- ・蕨市教育センターの現状について
- ・学校体育館へのエアコン導入について
- ・蕨駅西口地区市街地再開発事業・錦町土地区画整理事業の進捗状況について

5. 質疑応答・意見交換

Q： 分譲の建物を建てる時に道路から1メートルくらいの高さで基礎を作っている家があります。その地域の想定浸水深が1.5メートル程度とされているなかで、なぜそのような建て方をするのでしょうか。

A： 基礎のつくり方について、条例には基礎の高さを規定しているものではなく、各建築業者の判断で建築しています。しかし、あまりにも低い場合などは建築確認の際に市の担当課で指導をしています。

Q： 幼児教育無償化施策における幼稚園類似施設について、議会でどのような意見交換があり、最終的にどうなったのでしょうか。

A： 幼稚園類似施設は国の幼児教育・保育無償化の対象外とされてしまいました。そのため、7月の蕨市議会臨時会において、「幼児教育・保育無償化に関する意見書」を全会一致で可決し、国に提出しました。

しかし、現在のところ、残念ながら幼稚園類似施設を無償化の対象とするということにはなっていません。蕨市としては、今後、市内の幼稚園類似施設が子育て拠点事業を行っている事業者として、国と同等レベルの補助を受けられるように、検討を進めているところです。

Q： 外国人児童は日本語特別支援教室で学んでいくなかで、日本語を習得していくと思いますが、保護者の方は日本語を話したり、読んだりすることが難しいようで、周りとの意思疎通が図れないということがあり、特に学校の中でも日本語が通じないことで、困った時に頼るべきところがない状況です。

そうした保護者への発信やフォロー、あるいは学校に繋がられる通訳などをお願いできないでしょうか。

A： 日本語特別支援教室では、子どもと一緒に保護者の方にも授業を受けて頂いており、少しでも日本語が上達するようになってもらいたいと思っています。学校などにおいては先生が対応していますが、保護者向けだけの対応はしていない状況です。

Q： コミュニティスクールでは、今後学校について、どのようにしていくか意見交換などの話し合いを行っているのでしょうか。コミュニティスクール導入の意義について教えてください。

A： コミュニティスクールでは、PTAだけでなく地域の意見を取り入れて、地域に根差したより良い学校づくりのために、学校全般の話し合いを行っています。

しかし議事録などを確認していないので、どのような内容が話し合われているかについては、具体的には回答は差し控えさせていただきます。

Q： PTA会長の希望もあり、新しい百葉箱をつくり替えました。その際、お金の関係などで、市の施設担当者や学校に問い合わせた結果、百葉箱はPTAの管理であるとの回答でした。そうしたことも含めてコミュニティスクールにおいて、何を話し合っているのか内容を知るために議事録や学校が管理をしない施設などの管理マニュアルなどを知りたいです。

A： コミュニティスクールの考え方としては各小中学校評議委員の意見を広域的に考える場所として運営されているものであり、お知り合いを通じてそうした話し合いをしてほしいとの要望や確認をしてみたいはいかがでしょうか。

Q： 近所の道路に建売住宅がつくられた際に、道路の幅が以前よりも 10 センチほど狭くなるような境界をつくられてしまいました。市役所のほうでも建築にあたって書類の確認などがあるはずですが、その辺はどうなっているのか確認して頂けないでしょうか。

A： ご指摘の場所は、昭和 10 年頃に耕地整理事業で土地が整備されてきた経緯があり、その後の急速な宅地化とともに、沿道の土地所有者の方々の了承を得ながら、既存の砂利道を舗装道路として整備してきたものと思われます。

現在は当該エリア全体の測量を実施して座標値を定めているため、このたび住宅新築に伴い、この座標値を使って官民の境界を正確に測量して、両者立会のもと境界を確定したところ、道路整備時期に比べて測量技術が格段に向上していることも相まって、現在の L 型側溝の位置となりました。

今後、別の宅地についても申請ございましたら、同様の方法で境界を確定していくことになります。

Q： 蕨駅西口地区市街地再開発事業について、竣工予定が令和 7 年となっていますが、本当に可能なのでしょうか。具体的に内容と方針を打ち出して、早期に進めるようにして頂きたいです。

A： ご要望として承ります。

Q： 知り合いに重度知的障害の子どもを持つ方がおり、自宅で介助をしているのですが、今後親が亡くなったあとの子どもの生活について不安があると聞きました。近隣の施設もいっぱいに入れないようなので、重度知的障害のための施設を、蕨市につくって頂きたいです。

A： ご要望として承ります。

Q： 教育まちづくり常任委員会の報告で、外国人登録者数の割合が 9.6%、小学生が 277 名とありますが、蕨市全体の小学生の何%くらいになるのでしょうか。

A： 正確な数字は持ち合わせておりませんので、おおよその数字となりますが、蕨市の小学生が約 3,000 名、その内 277 名と考えるとおよそ 10% 近くということになります。

6. 閉会挨拶 保谷 武 副議長

※質疑応答・意見交換に関しては、当日いただいたご質問の内容等を担当部署等に確認し、印字・修正して公開しています。